

2009/02/23

大阪大学蛋白質研究所セミナーのご案内

京都大工 分子工学 白川昌宏
阪大蛋白研 構造プロテオミクス 池上貴久

- 溶液 NMR の方法論の新展開と生体分子解析への応用 -

日時 : 平成 21 年 3 月 5 日 (木) 午後 1 時 ~ 3 月 6 日 (金)
場所 : 大阪大学 吹田キャンパス コンベンションセンター 会議室 2
<http://www.handai-kouenkai.org/convention/index.html>

3月5日(木)

13:00-13:10

開会の辞

相本 三郎 (蛋白質研究所所長)

13:10-13:40

NMR によるヒト由来培養細胞内でのタンパク質の構造観察

朽尾 豪人 (京都大工 分子工学 生体分子機能化学)

13:40-14:10

SAIL 法による芳香環回転運動の研究

武田 光広 (名古屋大理 構造生物学研究センター)

14:10-14:40

代謝変動のダイナミクス解析を目指した技術開発

菊地 淳 (理研 PSC 先端 NMR メタボミクスユニット, 横浜市大 国際総合科学, 名古屋大生命農学)

14:40-15:10

休憩(コーヒープレイク)

15:10-15:40

巨大分子と相互作用するペプチドリガンドの構造解析

高橋 栄夫 ((独)産総研 バイオメディシナル情報研究センター(BIRC) タンパク質構造情報解析)

15:40-16:10

分子配向依存的 Trosy シフト変化を用いた NMR による高分子量蛋白質の分子形態変化観測技術 (Protein morphology analysis by NMR using the orientation induced Trosy shift changes)

楯 真一 (広島大理 数理分子生命理学 分子生物物理, PRESTO/JST)

16:10-16:40

ロングレンジの構造情報と酵素反応のリアルタイムモニタリングを用いた構造-機能相関の研究

片平 正人 (横浜市大 国際総合科学 生体超分子科学)

17:30-19:30

懇親会

3月6日(金)

9:30-10:00

Covariance 法を利用した4次元スペクトルの高分解能化

池上 貴久 (阪大蛋白研 プロテオミクス総合研究センター 構造プロテオミクス)

10:00-10:30

GSTタンパク質タグをつけたままでの転写因子ドメインの立体構造決定と相互作用解析

飯塚 舜介 (鳥取大医 機能再生医科学 生体高次機能学)

10:30-11:00

タンパク質立体構造解析へ向けた常磁性ランタノイドプローブ法の検討

齋尾 智英 (北海道大 生命科学院 構造生物学)

11:00-11:30

休憩(コーヒープレイク)

11:30-12:00

細胞骨格を制御する蛋白質複合体の NMR 解析

三島 正規 (首都大東京 理工学 有機構造生物化学)

12:00-12:30

不均一サンプリング法の検証と応用 (Validation and application of non-uniform sampling methods)

Jee(池) JunGoo(峻求) (首都大東京 戦略研究センター)

12:30-13:00

新しいメチルプローブによる高分子量蛋白質の相互作用解析

大木 出 (奈良先端科技大 バイオサイエンス 生体高分子)

閉会の辞

世話人および連絡先

白川 昌宏

(京都大工 分子工学) 〒615-8510 京都市西京区京都大学桂 A4 棟 1 階

TEL : 075-383-2535, E-mail : shirakawa@moleng.kyoto-u.ac.jp

池上 貴久

(阪大蛋白研 構造プロテオミクス) 〒565-0871 吹田市山田丘 3-2

TEL : 06-6879-4334, E-mail : tiik@protein.osaka-u.ac.jp